

いずみ

泉会事務局
〒157-0076
世田谷区岡本二丁目33番23号
TEL 03(5429)6721(代)
FAX 03(5429)6722
MAIL info@izumikai.jp
WEB https://izumikai.jp



ホームページは
ここから確認
ください。



泉会 X(旧ツイッター)は
ここから確認
ください。

設立70周年特集号



日の出舎

地域で活躍しよう。
あきる野市社会福祉協議会に協力して
赤い羽根共同募金活動に参加しました。

京都の好きな人は多いことは言うまでもない。どこにその魅力があるのだろうか。私も年に1〜2回は必ず訪れる。好きな定番コースは、天龍寺から竹林を通り、常寂光寺、祇王寺、化野念仏寺へ抜ける嵯峨野コースと南禅寺、永観堂から鹿ヶ谷、銀閣寺へ抜ける哲学の道であり、冬は用水路のものがいが微笑ましい。南に行けば稲荷神社から東福寺、醍醐寺など紅葉シーズンは欠かせない。夏の暑い時には鞍馬寺から貴船神社へ抜ける道も涼やかであるし、少し東に行けば大原三千院も田舎の風物が魅力的である。また、仁和寺から北野天満宮、金閣寺も良いし、八坂神社から高台寺を抜けて、清水に行く道も何回行っても楽しい。京都の魅力は、一言で言えば長い歴史に養われたお寺、神社と自然との調和にある。これに1200年の歳月の熟成が加わる。クリスマスチャンである私は、仏像に拝礼することはしないが、この仏像の魅力も捨てがたい。確かに、人の手で創られた偶像であるのだが、人の手で創られたとは到底思えない神々しさがある。また、京都の魅力でやはり特筆すべきは京料理である。私の馴染みの店は、河原町四条から五条に抜ける木屋町にある。カウンターとテーブル数席しかないこぢんまりとしたお店で、板長が一人で切り盛りしており、伝統を感じさせながらもお手頃な値段である。「なごみ」という名前に相応しく、座ると自ずと和む雰囲気が堪らなく素敵な店で、京都に行かれたら是非一度は味わって欲しい。



理事長 齋藤 金義

「京都の魅力あれこれ」

9そこで、わたしは言っておく。求めなさい。そうすれば与えられる。探さなさい。そうすれば見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。10だれでも、求めるものは受け、探すものは見つけ、門をたたく者には開かれる。【ルカによる福音書】第11章 9節〜10節

今年度の聖句

～泉会設立70周年によせて～

社会福祉法人泉会 理事長 齋藤 金義

今から70年前の1954年1月に当会は正式な法人として、社会福祉事業を開始いたしました。この間、幾多の困難を乗り越え、障害者福祉事業施設として相応のご評価を頂戴し、現在は世田谷区に5か所、多摩地域に4か所、計9か所の事業所を有し、お世話をさせて頂いている利用者様は今年3月末で231名、職員数は常勤、非常勤を併せて162名となっています。

2023年度の法人全体の事業収入は、東京都や世田谷区などからの事業運営のための補助金を含め、11億6,700万円となっております。

これもひとえに、利用者様、そのご家族、施設近隣の皆様など

多くの方々のご理解、ご支援の賜物であると、心よ感謝を申し上げます。

当会は、日本基督教団美竹教会牧師の浅野順一先生がキリスト教の精神をもってはじめられました。イエス・キリストは、身体に障がいを持ち、この世的には弱いものであるとされている人を、決して見捨てず、むしろ大切にされました。そのイエスの心を大事にし、障がいのある皆様と共に歩むことこそ、当会の創設以来の根本精神であり、それを今後とも忘れずに、大切に守り育てていきたいと職員一同願っております。

どうぞ今後ともご指導ご鞭撻を宜しく申し上げます。

社会福祉法人泉会 後援会いずみ友の会 役員 内田 文二

社会福祉法人泉会が設立70周年を迎えましたこと誠にめでたく、お慶び申し上げます。

私は学生の頃から「キリスト教共助会」に入会しておりました。浅野順一先生は共助会の大先輩で、多分にご指導を受けてきました。特に「実践にならない信仰は真の進行ではない」と語られたことは忘れられません。1954年、先生は日本基督教団美竹教会の牧師を退任され、新たに砧の地に開拓伝道を進め、また社会福祉法人泉会を設立。理事長に就任されました。私は強い関心を持ち続けておりましたが、障がい者の詩人・島崎光正さん(共助会員)が同法人の「泉の家」に入居されることになり、日頃から親しくしていた同氏の推薦もあって泉会の理事としての役を1988年から8年間務めさせて頂きました。

また2010年より、尾崎風伍牧師(共助会員)からの受継ぎで泉会后援会の会長の役を務めさせて頂きました。

後援会会長となって、泉会が実に多くの方々の長年のお支えによって続けられて来たことを改めて知らされました。

泉会は老朽化した泉の家の建替えを行ない、新たな泉の家が更に地域に根差していける様、地域の方々に参加できるチャリティコンサートを企画開催することになり、「成城音楽祭」と称して毎年三月、成城ホールで、コロナ前まで10年続けて行われました。

泉会のことを覚えて集まる方も多いこともあって、300席のホールが満席に近い盛況でした。特に第三回の際は、私が所属する早稲田大学コールフリーゲルOB会「三月会」と国際基督大学グリークラブ同窓「オールデン・ゲート・カルテット」による「男声合唱の夕べ」が実現できました。アンコール、再アンコールの声がかかる程の好評のうちに終わり、私にとってもよい思い出となっております。

後援会長となって数年程でしたか、島崎光正さんの夫人キヌコさんから連絡があって、「主人の遺言で泉会への寄付金があるので受け取りに来て欲しい」とのこと、早速に当時の理事長故人佐伯邦男さんと同行で訪問しました。多額の寄付金でした。島崎さんにとっても泉の家での生活は、感謝をもって思い出す貴重な経験だったことと思います。

「継続は力なり」と申しますが、これまで70年発展的継続してこられた様に、これからも、「信頼と希望と愛の輪で社会をつなぐ」経営理念をもって続けられます様に期待いたします。

社会福祉法人泉会 後援会いずみ友の会 役員 上遠 恵子

泉会70周年おめでとうございます。

私の父、上遠章は初代理事長の浅野順一牧師の後を継いで2代目の理事長をさせて頂きました。まだ太平洋戦争の傷跡が随所に残っている時代に、障害者に対する福祉などは全くないような時に泉会は発足しました。障害者が自立するための授産施設は当時としては先駆的なものだったと思います。初代施設長の羽山和江先生はご自身も障害を持ちながら実に精神的に動かれました。施設の運営のために寄付をお願いするための企業訪問に週に一度は必ず理事長の父を車で迎えに来られたことを思い出します。父は公務員でしたが、仕事のやりくりをして寄付のお願いに向かいおりました。クリスマスとして泉会にご奉仕できたことは、父にとって感謝すべきことだったと思います。

島崎光正さんご夫妻とも親しくさせて頂きました。自動車の免許を取られた島崎さんの車に乗せていただいて、しばしば出かける健常者の父でありました。私も、大森健悦さん、大光寺さんはじめ、障害を持ちながら持てる才能を精一杯用いられているみなさんの姿にどんなに感動したことでしょうか。

今、私は父の年齢を超え、歩行器に頼る日々ですが、いずみ友の会の末席に加えさせて頂いております。70周年を迎え、岡本町の泉の家をはじめ、日の出舎、岡本福祉作業ホーム、玉堤分場、コイノニアなど泉会の働きは広がっています。ますますの発展を、心からお祈りいたします。

泉会設立 70周年 記念特集号

ほ さか とし はる
保坂俊晴 業務執行理事

1953年10月30日に、戦傷元軍人のための「大蔵身体障害者更生相談所」発足から始まり、1954年1月20日に泉会が設立されました。泉会は、一貫して「基督教の精神に基き」事業を進めています。

その歴史は羽山和江から始まりました。羽山は、発語や右手足の麻痺がありました。父の遺言を受け、1940年に渋谷にある美竹教会の創設者である、浅野順一牧師(初代理事長)に「同じような重荷を負う人々のために働きたい」と相談しました。土台となる信仰を養うことが必要と、まずは忠実な教会生活を送るように勧められ、一年間美竹教会に通い、青山学院神学部へ入学、卒業後、横須賀基督教社会館、図書室の主査となりケースワークを学び、個人相談所の担当となりました。

羽山の心にかかっていたのは、白い病衣を着て街頭に立ち募金をお願いする人たちの姿でした。世田谷区大蔵町の国立大蔵病院厚生園のことを知り訪問すると、そこで聞いたことは、帰る家がない、家族がいても養ってもらえない、はいかない人、働く職場が見つからない方たちの状況でした。職場探しの相談できる協力機関が一番必要なことが分かりました。羽山は、相談所開所に向け、行政などに働きかけ相談したが難航しました。

日本国際基督教奉仕団を訪ね、理事長真鍋頼一氏に相談したところ、羽山自身がやることを勧められ、自ら相談所を設立することを決意しました。真鍋氏や基督教関係者、厚生省、鉄道弘済会など理解者や応援者が多く集まりました。大蔵病院長黒川清之氏の厚意で、病院の一室をお借りすることができ、「大蔵身体障害者更生相談所」を開設することができました。その3か月後には、泉会が設立され、「泉会身体障害者更生相談所」と改称されました。浅野順一牧師の助言を受け「泉」は、ヨハネ福音書第4章14節「わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう。」というイエスの言葉から命名されました。泉会は、浅野順一牧師の基督教の教え、羽山和江のわきあがる熱意やその協力者によって築き上げられ、今日まで困

難を乗り越え事業を進めることができました。

70周年を記念して、2024年1月20日には、記念コンサート、2025年1月7日(12日)に世田谷美術館でパネル展示会「70年の笑顔」を開催いたしました。設立70周年を迎えることができ、当初から支えていただいている友の会の皆様や、ご支援、ご協力をいただいている多くの方々に、心より御礼を申し上げます。泉会は、今後も先達が築き上げてくれたこの「泉会の精神」、困難を乗り越え時代に即した事業展開を進めてきたことを、今一度思い起こし胸に刻み、利用される皆様や関係者、地域の方々と一緒に多様化する社会福祉の担い手として、更なる発展を目指し歩みを続けて参ります。

今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう御願ひ申し上げます。

社会福祉法人泉会 経営理念

わたしたちは、
信頼と希望と愛の輪で
社会をつなぎます。

この特集号では、年表を中心に編集しました。

7ページから左開きでご覧ください。

より詳細な年表は、法人ホームページからご覧いただけます。



<https://izumikai.jp>

ホームページは
ここからご確認ください。



「信頼・希望・愛の輪 50年史」を刊行

あきる野市に東京都重度障害者グループホームBタイプ「あかさか」開設↓2007年に「いずみ」に改名

泉会 創立五十周年

泉の家、自立体験室「のびのびルーム」開設

日の出舎、短期入所事業開始

元常務理事羽山和江召天

世田谷区立岡本福祉作業ホーム玉堤分場 開設

日の出舎 通所ホーム完成

泉の家 自転車リサイクル事業開始

1989 平成元 1992 平成4 1994 平成6 1995 平成7 1997 平成9 2001 平成13 2003 平成15 2004 平成16 2005 平成17 2007 平成19 2008 平成20



泉の家、解体工事開始(2月) 起工式(5月)

多機能事業(生活介護、就労移行支援、就労継続支援B型) 単独型短期入所

新しい泉の家 開所

第1回成城音楽祭開催

あきる野市にグループホーム「のぞみ」1月竣工 4月開設

泉会事務局を開設

岡本福祉作業ホーム内に特定相談支援事業「相談支援センターおかもと」開始

就労日の出舎 竣工

泉会事務局を岡本2丁目へ移転

コイノニアかみきたグループホームこいのにあ事業開始

玉堤分場 台風19号により浸水

■コイノニアかみきた 障害者サービス事業多機能型生活介護20名 就労継続支援B型30名 ■GHこいのにあ 共同生活援助4名+4名

就労移行事業廃止…過去10年間、就労移行の利用が無かったため。生活介護の定員増…世田谷区での生活介護のニーズが高まっているため。

泉の家 就労移行事業を廃止 生活介護の定員を20名から26名に増員

能登半島地震に伴う介護職員等応援派遣で職員2名派遣

泉会 設立七十周年

2009 平成21 2010 平成22 2014 平成26 2015 平成27 2016 平成28 2017 平成29 2018 平成30 2019 令和元 2020 令和2 2021 令和3 2022 令和4 2024 令和6

昭和天皇崩御 平成に改元

阪神・淡路大震災 発生 最大震度7 死者行方不明者6437名



社会福祉法基礎構造改革



介護保険法成立

アメリカ同時多発テロ

社会福祉法の完全実施

イラク戦争勃発



郵政民営化法成立

民主党政権誕生



ハンセン病問題基本法施行

熊本地震発生 最大震度7 死者276名



新型コロナウイルス感染症の世界的流行



東京オリンピック・パラリンピック開催

能登半島地震発生 最大震度7 死者行方不明者404名

泉会の足跡



当時の国立大蔵病院

泉会設立
戦傷元軍人のための「大蔵身体障害者更生相談所」発足
浅野順一 理事長就任
羽山和江 常任理事就任

泉の家 開所
開所式(来賓 高松宮殿下)
浅野順一 牧師「泉会」を命名

保護授産施設 泉の家 開所
定員30名

身体障害者 収容授産施設 泉の家、開所

「泉」は新約聖書ヨハネ福音書第四章十四節のイエスの言葉「わたしが与える水を飲む者はいつまでも渇く事がないばかりか、私と与える水はその人の内にて泉となり、永遠の命に至る水が湧き上がるであろう。」から選ばれた。

建物の一角の小さな売店「いづみ」。施設の製品を販売。紳士服、婦人服の注文も受けた。



建物の一角の小さな売店「いづみ」。施設の製品を販売。紳士服、婦人服の注文も受けた。



岡本泉の家開所式。壇上は司会の羽山施設長。

泉会の目的は何ですか？
羽山「身体障害者の福祉、即ち一人一人の障害者の人々が自分の力を見出すと共に、それを活用できるようにすることにあります」

日の出村(74年に町制に移行)の敷地は、傾斜地を上がったところにあり、寒さが厳しく、当時の周辺道路は狭くて舗装されておらず、障害者の歩行や車いすの通行は困難で、障害者が生活するには過酷であった。しかし、地元住民の方々の非常に理解ある協力が得られ、ボランティアグループとの有意義な交流も生まれた。問題の道路は行政への働きかけで76年までに拡幅舗装。



日の出舎全景

おとずれた試練…羽山の突然の辞任で2千万円の借入金を抱えた経営危機が表面化。ごく少数の職員は危機を少しでも乗り切るために無給で働く事も話し合った。但し三食だけ支給して欲しい、条件はそれだけだった。

日の出舎 開設
重度身体障害者授産施設

日の出舎 作業棟落成式

初代理事長 浅野順一 召天

羽山和江 辞任

岡本2丁目泉の家落成
地上5階まで完成

岡本2丁目泉の家落成
地下1階地上1階



岡本福祉作業ホーム

世田谷区立岡本福祉作業ホーム 開設
泉会に事業委託
授産定員30名 授産前訓練定員10名

1992年まで5年連続チャリティー映画を実施した。

チャリティー映画
特別試写会「ナディア」

1945 昭和20 1947 昭和22 1949 昭和24 1950 昭和25 1953 昭和28 1954 昭和29 1956 昭和31 1957 昭和32 1960 昭和35 1964 昭和39 1966 昭和41 1967 昭和42 1970 昭和45 1971 昭和46 1975 昭和50 1981 昭和56 1984 昭和59 1985 昭和60 1988 昭和63

「終戦の詔書」録音放送
日本無条件降伏

日本国憲法施行

身体障害者福祉法公布

(新)生活保護法公布

ビキニ諸島水爆実験、第五福龍丸乗組員被爆

防衛庁、自衛隊発足

水俣湾に奇病発生

日本の国連加盟 可決

精神薄弱者福祉法公布



厚生省令「救護施設、更生施設、授産施設及び宿泊提供施設の設備運営に関する最低基準」

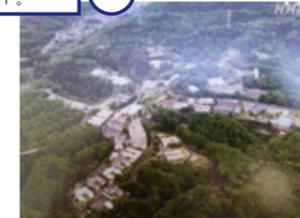
東京オリンピック/パラリンピック開催



厚生省社会局長「身体障害者福祉法による身体障害者更生授産施設通所事業について」通知

心身障害者対策基本法成立

国立高崎コロニー。重度心身障害者が長期的に安心して生活出来るよう設計。49名の園生と249人の職員でスタート。



国立高崎コロニー開所

障害者の権利宣言(国連総会で決議)

国際障害者年「完全参加と平等」

身体障害者福祉法改正

国民年金法改正(障害者基礎年金創設)

青函トンネル開通(58.85km)



感謝

みなさまからの温かいご寄付とボランティア活動に心より感謝申し上げます。
またこのほかの方々の様々な協力にも厚く御礼申し上げます。
みなさまの支えが私たちの力となっています。

友の会会費

秋山 正子 様
清永 丈太 様
牧野 信次 様
他 匿名1名

一般寄付

石田 敏彦 様
泉川柳会一同 様
内田 文二 様
落合 アシア 様
小俣 新重郎 様
学校法人日本聾話学校 様
北白川集会レプタ会 様
こひつじ幼稚園 様
清永 丈太 様
恵泉女学園中学・高等学校 様
志波 幹雄 様
新川 洋司 様
玉川聖学院 様
玉置 雄三 様
長野 勝英 様
中山 美香子 様
日本基督教団鶴川北教会 様
藤本 保 様
三澤 秀樹 様
村上 肇 様
明治学院高等学校 様
茂木 勝治 様
吉村 謙 様
他 匿名4名

ボランティア

あすなろ会 様
新井 光治 様
池田 恵美子 様
白井 ヨシノ 様
小田 那由多 様
落合 アシア 様
小幡 仁 様
笠原 千佳子 様
小松 理枝 様
佐伯 香世 様
佐久間 ひとみ 様
佐藤 あずさ 様
下田 麻紀 様
菅沼 早吉子 様
救使河原 麻美 様
野澤 順子 様
橋本 幹子 様
濱田 美知子 様
平田 民子 様
細田 隆 様
丸山 節子 様
宮沢 裕紀子 様
宮本 和美 様
村上 研二 様
村上 浩輔 様
森 政美 様
山内 浩二 様

物品寄付

三栄造園株式会社取締役会長
藤倉 幸彦 様
一般社団法人
パンフィックファイルハーモニア東京 様
東京善意銀行 様



Event 行事

4月1日(火)	事業計画説明会	泉の家
5月2日(金)	外出クラブ①	岡本ホーム
5月9日(金)	日帰り旅行①	コイノニア
5月21日(水)	外出クラブ②	岡本ホーム
5月23日(金)	日帰り旅行①	泉の家
5月30日(金)	日帰り旅行②	泉の家
6月4日(水)	外出クラブ③	岡本ホーム
6月4日(水)	ミニ運動会	日の出舎
6月6日(金)	日帰り旅行③	泉の家
6月7日(土)	日帰り旅行②	コイノニア
6月14日(土)	日帰り旅行③	コイノニア
6月(日時未定)	お楽しみ会	グループホームのぞみ

Market 販売会

3月16日(日)	せせせマルシェ	岡本ホーム
4月~6月	無印良品三軒茶屋店「つながる市」	玉堤分場
(日付未定)	祖師谷大蔵駅・梅ヶ丘駅販売会	玉堤分場
4月29日(火)	花みず木フェスティバル	泉の家
5月上旬	親と子のつどい	泉の家 岡本ホーム
5月中旬	せたがや環境フェスタ	泉の家
5月中旬	緑化まつり	泉の家
6月上旬	ガーデニングフェア	泉の家 岡本ホーム



予定表 2025年3月~6月

【お知らせ】新型コロナウイルスの影響で記載の予定が変更や中止となる場合があります。また、恒例となっている行事につきましても、中止とさせていただいているものがあります。詳しくは、各事業所までお問い合わせ下さい。

発行所
障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072
東京都世田谷区祖師谷3-11-17
ヴェルドゥーラ祖師谷102
社会福祉法人 泉会
林瑠璃

法人本部
〒157-0076 世田谷区岡本二丁目33番23号
☎ 03(3417)3451(代) FAX 03(3417)3463
✉ izumi@izumikai.jp

岡本福祉作業ホーム
〒157-0076 世田谷区岡本二丁目33番24号
☎ 03(3415)3366(代) FAX 03(3415)4976
✉ okamoto@izumikai.jp

相談支援センター
おかもと
(岡本福祉作業ホーム内)
✉ soudan-okamoto@izumikai.jp

玉堤分場
〒158-0087 世田谷区玉堤二丁目3番1号 B1F
☎ 03(5707)9431(代) FAX 03(5707)9433
✉ tamatutumi@izumikai.jp

コイノニア
かみきた
〒156-0057 世田谷区上北沢一丁目32番14号
☎ 03(5316)2251(代) FAX 03(5316)2252
☎ 03(5316)2254(グループホーム)
✉ koinonia@izumikai.jp

日の出舎
就労日の出舎
相談日の出舎
〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎ 042(597)1451(代) FAX 042(597)2205
✉ info@hinodesha.org

グループホーム
のぞみ
〒197-0804 あきる野市秋川二丁目3番1号
☎ 042(533)3608 FAX 042(533)3609

編集後記

泉会70周年記念パネル展が開催されました。これまで泉会に関わったたくさんの方々の笑顔が一堂に会した展示は、温かい雰囲気にも包まれた空間となりました。これからも笑顔で溢れる泉会でありますように。(岡本福祉作業ホーム玉堤分場 田中慧治)

schedule